

ローレル *-Laurel-*



別名	ベイリース・ローリエ・月桂樹の葉
植物学	クスノキ科 常緑樹
	スパイスとしての使用部位は葉。雌雄異株
主産地	スペイン
スパイス学	ユーカリや樟脳に似たすがすがしい芳香と苦みを合わせ持つ。主成分はシネオール、リナロール、オイゲノールなど地中海沿岸産のものはシネオールの含有量が多く、チリ産のものはリナロールの含有量が多く、中国産はオイゲノールの含有量が多いそうです。
用途	肉や魚の臭み消しとして、煮込んで用います。ホールを使うときは、葉をちぎったりして使用すると香りが強く出ます。
エピソード	ギリシャ神話では、太陽の神アポロンの霊木として崇められています。ローレルの葉で作った冠を月桂冠と呼び、オリンピック（マラソン）では現在も優勝者に月桂冠をかぶせて表彰している光景を見かけます。